

共和国時代のエジプト切手（1953年～1969年） （普通・特殊切手）

塩田 泰弘

いつものことであるが、収集した切手をなかなかアルバムに整理しない。その結果、アルバムに整理すると、リストには入手済のチェックがはいっているのにその切手が見当たらないことが度々ある。今回も例に漏れず、入手したはずの切手を探し回ることとなった。それでも結局見つからないものがあり、アルバムに穴が開いたままになってしまった。

今回の拝見は、エジプト自由将校団のクーデタにより王政が廃止（1952年・エジプト革命）され、共和国に移行後、ガマル・アブドゥル・ナセルが共和制エジプトの第2代大統領（1954年～1970年）として実権を握った時代の切手である。

この時代のエジプトは、第二次世界大戦後の世界を二分する米ソの冷戦、イスラエル建国によるアラブの混錬、中東戦争（第二次、第三次中東戦争）などの難しい国際情勢の中にあって、大国の動きに同調しない姿勢を貫き、経済的な自立を目指して農業振興・工業化促進を図る一方産業の国有化を図り、アスワンハイダムを建設し、スエズ運河から英仏の影響を排除し国有化に成功する時代である。さらにアラブ民族主義を打ち出し、シリアとアラブ連合共和国（UAR）を設立（1958年）し、イエメンも参加するなどアラブ民族の協調・結集をはかっている。UARは3年で挫折し、エジプトの政治・経済も混乱していくが、その後も1964年アラブ連盟首脳会議において、パレスチナ解放機構（PLO）の結成が承認されるなどアラブ民族の結集を主導するとともに、アフリカ諸国との協調政策も図るなど国際社会において大きな影響を残した。

この時代のエジプト切手は、ナセルの政治・経済・外交の方向が色濃く反映しており、切手を研究することにより、この時代のエジプトを垣間見ることができる。

今回の提示した切手の発行目的、その図案は主に次のようなものである

- ① 電力供給、工業、農業等の産業振興に関するもの
- ② アラブ・アフリカ諸国を対象とした、各種の会議・施策に関するもの
- ③ 国連及びその構成機関に関するもの
- ④ 観光宣伝あるいはエジプトの栄光を示すものとして古代エジプト王国の遺跡・その出土品を図案にしているもの

が目立って多くみられる。

なお、エジプト切手の加刷にはエラーが多いが、今回も国王肖像抹消加刷エラーを、また、エンタイア、初日カバーも入手したので展示している。

EGYPT

普通・特殊切手
(DEFINITIVE・COMMEMORATIVE STAMPS)

ナセルの時代

1952年7月23日、自由将校団がクーデターを起こし、ファルーク国王を廃位させ、息子のファード2世が即位するが、翌1953年6月18日に王政は廃止され、共和制に移行する。ナギーブが初代大統領に就任するがナセルと対立する。1954年ナセルはナギーブを追放し、自ら大統領に就任する。1970年9月28日ナセルが急死し、副大統領のサダトが第3代大統領に就任する。。

新生エジプトを表わす図案

図案: 農夫(1m、2m、3m、4m)、陸軍軍人(10m、15m、17m、20m)
 スルタンモスク(30m、32m、35m、37m、40m、50m)
 ネフェルティティ女王(100m、200m、500m、1 £)
 327～330には「Defense」の記述
 目打: 13×13 1/2 (322～330) 13 1/2 (331～340)

1953～56



EGYPT

国王图案抹消加刷

(台切手1839-51)

加刷: 三本の線

加刷色: 黒

目打: 13×13 1/2

13 1/2×13

1953



Scott注

- 1 No. 206の加刷は偽物である。
- 2 No. 343-364には二重加刷がある。
- 3 1952年発行切手の加刷には偽物があることが知られている。

EGYPT

344(二重加刷)351(2枚は二重加刷) 航空便

CAIRO差立て?????.?.18 → ITALIA GENOVA到着印1953.VI.20



裏面(70%)

到着印
ITALIA GENOVA
CENTRO 1953.VI.20



EGYPT

アスワンダム発電所落成

図案：アスワンダム発電所

目打：13 × 13 1/2

1960, Jun. 9

495



10m

青味紫黒

アスワンハイダム建設開始

図案：10m アラビア語と英語の説明書

35m 建築家の素描

目打：11 × 11 1/2

1960, Jun. 9

496



10m

赤紫

497



35m

赤紫

496・497a ペア



EGYPT

1953-58シリーズの国名「Egypt」を「UAR」に改刻

図案: 1m 農婦 2m Ibn-Tulun's Mosuque 3m 女王ノフレット
 4m 14世紀のガラスランプ 5m 工業 10m ラムセス2世
 15m Omayyad モスク ダマスカス 20m Lotus花瓶・ツタン
 カーメンの宝物 30m セントシモンの門・シリア・ボスラ
 35m 鷺・船・積み荷 40m 書記の彫像
 45m サラディンの要塞・アレppo 55m 鷺・綿・小麦
 60m ダムと工場 100m 鷺・手・綿・穀物
 200m Palmyrsの旧跡・シリア 500m 女王ネフェルティティ

目打: 131/2×14 14×131/2

透かし: UARのアラビア文字

1959-60



EGYPT

アラブ連合共和国の時代United Arab Republic

スエズ動乱の結果、英仏両国は中東における威信を完全に失墜し、代わって影響を増した米ソの圧力の中で、ナセルはアラブ民族の統一を目指すアラブ民族主義を唱導した。1958年2月、エジプトとシリアが合邦して「アラブ連合共和国」が成立し、3月にはイエメンが参加する。ナセルが初代大統領に就任する。さらに、イラクでクーデターを起こし、実験を握ったアブデル・カリム・カセムがアラブ連合に酸化する意思があることを表明する。このころがナセルの絶頂期であった。

なお、切手には「EGYPT」に代わり「UAR」と表示することとなる。

アラブ連合共和国の誕生

図案：エジプトとシリアを結ぶ地図

目打：111/2×11

透かし：複数の鷲とミスル文字

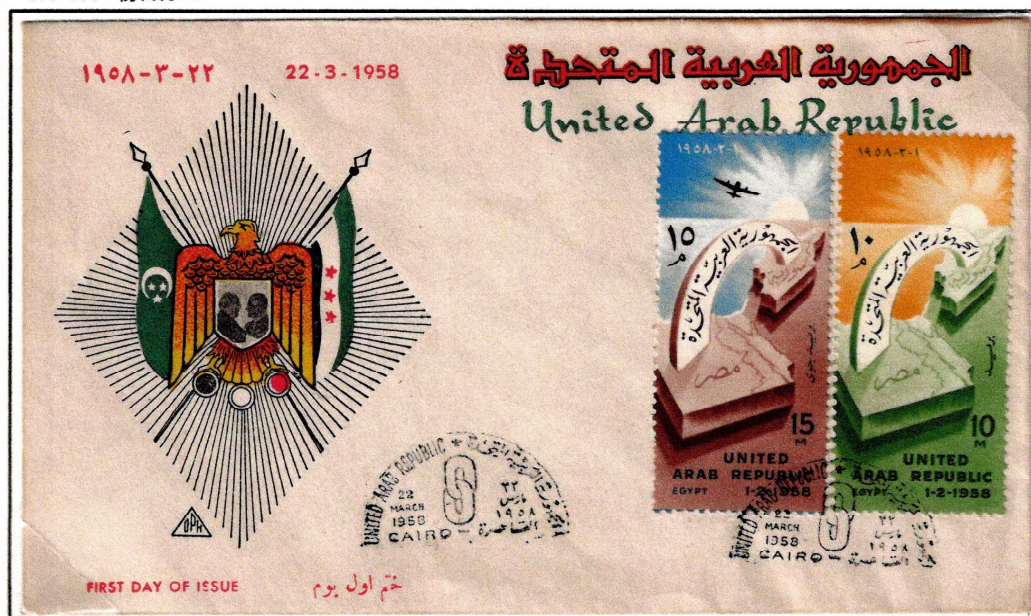
1958, Mar.22

436



436・C90 初日カバー

10m 黄緑



EGYPT

大統領に就任以来、ナセルは西側諸国とも協調姿勢をとっていたが、「対ソ封じ込め政策」である「バグダッド条約機構」が形成されると、冷戦構造に組み込まれることに反発してその姿勢を変え、1956年7月26日、当時植民地支配の象徴として唯一残っていた、スエズ運河の国有化を宣言した。これに対し英仏及びイスラエルは武力行使を決定し、10月29日イスラエル軍がシナイ半島を攻撃しスエズ動乱（第二次中東戦争）が勃発する。英仏両国も軍を派遣する。しかし、国際世論と英仏国内の反発を招き、12月22日にエジプトから撤退し、イスラエルも1957年3月にはシナイ半島から撤退した。

スエズ運河国有化宣言1956年7月26日

図案：スエズ運河の地図と船
目打：111/2×11

1956 Sept.26

386



10m 青黄褐

ポートサイド防衛の栄光

図案：ポートサイド防衛
のエジプトの人々
版式：平版

1956 Oct.20

388



10m 茶青味紫

英仏軍ポートサイド撤退1956年12月22日（加刷）

台切手388

加刷文字：撤退 22・12・56
(アラビア語・英語)

加刷色：えんじ

1956 Jan.14

389

台388



10m 茶青味紫

ユネスコ国際博物館週間10月8-14日

図案：女王ネフェルティティ
目打：131/2×13

1956 Oct.15

387



10m 暗緑